

地域農業の在り方等を踏まえた市町村支援計画等の概要

【地区の概要】

- 水田作と施設園芸が主体の山間農業地域
- 地区の耕作放棄地の予防のためには、地区の担い手が規模拡大できるような農地利用の効率を向上させる、あるいは新たな担い手農家を確保する必要

【支援内容・背景】

- 高齢化等を背景として担い手への作業受託が増加しており、担い手へさらに集積等を担ってもらうには、担い手側の作業の効率化を行いつつ、付加価値額を上げるための取組が必要。
- 助成対象者は、地区内で水稻を中心とした大規模経営を営む者であり、経営面積を急速に拡大。担い手の農地引き受け余力を確保するために、作業の効率化に対応できる機械の導入を支援。



助成対象者「(農)水穂やまだ」の経営の状況と事業内容

【経営の経緯】

- 平成8年 機械利用組合設立
- 平成30年 法人設立(農事組合法人)
- 平成30年 経営改善計画の認定

《事業活用の背景》

○ 条件不利農地の作業受託や収益性の高い里芋の導入による付加価値額の向上に向け、作業の効率化に資する小型高性能機械を導入。

【事業実施時の状況】  
〈R4年度〉

○付加価値額 10百万円

○経営面積 59.5ha

《事業による整備内容》

- トラクター 1台
- ロータリー 1台
- マルチロータリー 1台
- 堀取機 1台
- 移植機 1台

事業費 3,894千円  
(国費 1,770千円)

【現在の経営状況】  
〈R6年度〉

○付加価値額 17百万 **(170%)**

○経営面積 75.3ha **(126%)**

事業の効果

《対象者》 小型高性能機械の導入により、作業の効率化が図られ、経営規模の拡大により、付加価値額が向上。

《地区》 条件不利農地などの作業受託の拡大にあっても、経営が確立できたモデル及び地域の担い手への農地の集積が実現。